



平成 29 年 3 月 31 日

国土交通省中部地方整備局

清水港湾事務所

清水港で港の役割を実感！

「春休み みなと見学会」を実施

清水港湾事務所では平成 29 年 3 月 23 日、市民を対象とした「春休み みなと見学会」を開催しました。

見学会には、約 150 名が参加し、清水港の施設の説明や見学会を通して港の役割について理解を深めました。

1. 概要

現在の清水港は、日本の経済にとって重要な国際拠点港湾として位置づけられ、その中で最も面積が小さい港でありながら活気に富み、コンテナターミナルやエネルギー関連施設、チップ、穀物などのバラ貨物を扱う施設など様々な役割を持った施設が配置されています。

また、美しい景観を有した日本三大美港の一つであり、近年は、大型客船の寄港も増加していて賑わいも有した港です。

海上から、普段は見るのが難しい港内の荷役作業や地球深部探査船「ちきゅう」などの様子を見学した参加者の方は、皆興奮した様子で、約 1 時間の港内見学を楽しんでいました。



＜屋上から地球深部探査船「ちきゅう」を見学

2. 当日のスケジュール

日時：平成29年3月23日(木)

- | | | |
|--------|-------|-------------------|
| 8：30～ | 9：10 | 受付(清水マリンパーク 船着き場) |
| 8：45～ | | 乗船開始(ベイプロムナード号) |
| 9：15～ | 9：30 | 挨拶・説明 |
| 9：30～ | 10：30 | 清水港海上見学(船上)【60分】 |
| 10：30～ | 10：40 | 下船・記念写真撮影(船着き場) |

3. 見学の様子



<受付の様子>



<開会の挨拶(馬場所長)>



<船内から港内説明の様子>



<清水港視察後 記念写真撮影の様子>

4. 参加者の感想

- 清水港の立地、地形などがとても利用しやすい港になっていることに興味をもった
- 毎年参加しています。清水港はコンパクトながら設備が年々充実していくのは、うれしいことです。
- 昭和 40 年代とは見違えるような景色に驚きました。
- コンテナの積み降ろしや、「ちきゅう」を近くで見られておもしろかったです。
- 天然の良港である清水港が、企業の協力により統一された色彩の美しい世界に誇れる港になっていると思いました。

5. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ
静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

6. 問合せ先

国土交通省中部地方整備局 清水港湾事務所
企画調整課 堀池（ほりいけ）、坪倉（つぼくら）
TEL：054-352-4148 FAX：054-353-3072
E-mail：pa.cbr-shimizukikaku@mlit.go.jp